

農山漁村地域での検討STEP 2 | 企業との連携・協働に向けた検討（受入体制）

活動の受入はどの組織が担当しますか？



企業などと一緒に活動できたら嬉しい活動内容の検討ができれば受入体制について整理してみましょう！

①STEP 1で検討した活動内容に対応できる地元組織はありますか？

企業と連携・協働する活動に対して、十分な対応が可能な地元組織が必要です。

必ずしも自治会のように集落全てが参画している組織である必要はありませんが、活動範囲が集落全てに関係するようであれば、全員が参加している組織が望ましいです。

組織については、活動内容に応じて、別の組織と連携したり、窓口を変更したりする可能性もあります。

②コーディネーター（活動の調整役）となる人材がいますか？

企業側との窓口となって、企業と地元の調整などを行う人材が必要です。

上記①の組織の会長さんなどでも結構ですが、可能であれば、会社を退職された方、公務員だった方、県外で働いた経験がある方など別の視点を持った関係者がベストです。

農山漁村と企業が連携・協働する取組は、決まったルールがありません。

いろいろな角度からアイデアを出したり、新しい取組を考えたりと、柔軟な対応が求められます。

連携できそうな活動内容や
受け入れ態勢の整理ができれば
企業へ話を持ち込んでみましょう！

まずは軽い交流から！
つながりを持つことが大切！



<https://www.furusato-ouen.pref.mie.lg.jp/>

企業での検討STEP 1 | 農山漁村地域との連携・協働に向けた検討（取組内容）

御社のご意向や条件をヒアリングさせてください



農山漁村との連携に向けた企業側チェック事項

- 1 具体的な活動のニーズ
- 2 活動場所
- 3 活動内容
- 4 活動日
- 5 年間活動回数
- 6 活動期間
- 7 参加者の形態
- 8 道具代、材料代等の経費負担
- 9 窓口、コーディネーター人材
- 10 企業理念・CSR方針で特に注力しているテーマ
- 11 農山漁村で取り組んでみたいこと
- 12 あなたの企業で取り組みたいSDGs達成目標

農山漁村地域との連携に向けた企業側チェック事項

1 具体的な活動のニーズ

- ☐ 企業イメージの向上（地元からの理解、親近感など）
- ☐ 社員の健康管理、福利厚生性の向上
- ☐ 社員同士のコミュニケーション活性化、士気向上
- ☐ 社員の研修育成、能力向上
- ☐ 新しいビジネス開発
- ☐ その他（ ）

2 活動場所

- ☐ 会社、工場等の周辺（隣接地域まで）
- ☐ 会社、工場のある市町村域内
- ☐ 会社、工場からそれ程遠くない地域（車で30分圏内）
- ☐ 会社、工場からそれ程遠くない地域（車で60分圏内）
- ☐ どこでも良い（ただし参加者の交通手段を考慮）

3 活動内容

- ☐ 作業のお手伝い程度で十分
- ☐ 同じ作業をしっかりとやりたい
- ☐ 作業以外に、地域の行事などにも参加したい
- ☐ 作業だけでなく、住民の方と交流したい
- ☐ 住民の方と、じっくりと検討を重ねて、新しい取組を広げたい

4 活動日

- ☐ 週末中心
- ☐ 基本的にいつでもOK
- ☐ 繁忙期、閑散期があるので活動時期は限定的に

5 年間活動回数

- ☐ 年1回程度
- ☐ 年2、3回程度
- ☐ 年4回程度
- ☐ 年5回以上

12 あなたの企業で取り組みたいSDGs達成目標（複数選択可）

- ☐ 目標 1：貧困による問題をなくす
- ☐ 目標 2：持続可能な農業生産を支える
- ☐ 目標 3：やすらぎや福祉の機会を提供する
- ☐ 目標 4：地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する
- ☐ 目標 5：女性の参画により地域や活動団体の機能を高める
- ☐ 目標 6：地域における水質を保全する
- ☐ 目標 7：持続可能なエネルギーの活用を推進する

11 農山漁村で取り組みたいこと（複数選択可）

- ☐ 農作業支援
- ☐ 児童養育支援
- ☐ 高齢者介護支援
- ☐ 食品加工
- ☐ 空き家活用
- ☐ 観光

6 活動期間

- ☐ 1年間
- ☐ 2年間
- ☐ 3年間
- ☐ 4年以上（できるだけ長く続けたい）

7 参加者の形態

- ☐ 自由参加
- ☐ 会社の業務として参加
- ☐ 家族連れOK

8 道具代、材料代等の経費負担

- ☐ 参加者の自己負担
- ☐ 会社負担
- ☐ 基本は会社負担だが、一部自己負担あり
- ☐ その他（ ）

9 窓口、コーディネーター人材

- ☐ 窓口担当者がいる
- ☐ コーディネーターを頼みたい
- ☐ コーディネーターは頼まず、ひとまず社員で対応する

10 企業理念・CSR方針で特に注力しているテーマ

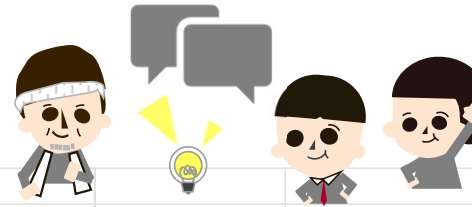
- ☐ 環境保全（脱炭素・資源循環、生物多様性保全など）
- ☐ 地域社会への貢献・地域活性化
- ☐ 医療・福祉支援
- ☐ 教育支援・次世代育成
- ☐ ダイバーシティ＆インクルージョン・人権尊重
- ☐ 働きやすい職場環境の整備
- ☐ 顧客満足・品質向上
- ☐ コンプライアンス・企業統治
- ☐ その他（ ）

<https://www.furusato-ouen.pref.mie.lg.jp/>

両者での検討STEP 1

農山漁村地域との連携・協働に向けた検討（打合せ・現地見学）

企業・地域・県の三者で顔合わせし、
ざっくばらんにお互いの希望を出し合います



POINT
活動を通して
企業と地域が交流すること

POINT
最初は簡単な
活動からはじめる

POINT
双方の理解が進んだら次の
新しい展開方向を協議

| 農山漁村と企業の新しい関係づくりマトリックス（取組参考事例） | | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 企業側の視点 | A. 社会貢献・地域貢献 | B. 福利厚生・心の健康 | C. 社員研修・社内コミュニケーションの活性化 | D. 新規事業の展開 | E. 新規資源の活用 |
| 農山漁村側の視点 | | | | | |
| 1. 人材支援・ボランティア支援 | A 1 社員ボランティアによる農作業、集落作業支援 | B 1 福利厚生事業としての農作業体験 | C 1 社員研修として農作業体験 | D 1 地元交流を通じたマーケティング調査 | E 1 地元交流を通じた高付加価値素材・資源の調査 |
| 2. 資材支援 | A 2 社会貢献、地域貢献の一環として資材提供 | | C 2 社員研修と連動した資材支援 | D 2 資材提供を通じた試作品の実証実験、データ収集 | |
| 3. 財政支援・寄附・協賛 | A 3 社会貢献、地域貢献の一環として寄附 | | | D 3 コース・マーケティング手法による商品開発（寄附） | E 3 コース・マーケティング手法による商品開発（寄附） |
| 4. 企業の本業を通じた農山漁村支援 | A 4 企業や社員のノウハウ・能力の活用（プロボノ） | | C 4 農山漁村と共同した商品開発研修 | D 4 地域課題解消にも効果がある新サービス、新商品の展開 | E 4 遊休資源や新規資源を活用した新規事業の取組 |
| 5. 企業による地域資源の活用を通じた支援 | A 5 企業や社員のノウハウ・能力の活用（プロボノ） | B 5 社員食堂で食材活用 地域資源を活用した福利厚生事業 | C 5 社員研修として農山漁村交流事業の実施 | D 5 遊休資源や地域資源を活用した農商連携事業の取組 | E 5 遊休資源や新規資源を活用した農商連携事業の取組 |
| 6. その他 | A 6 地域行事への参加 出張授業・出張教室 | B 6 福利厚生事業として農山漁村交流事業の実施 | C 6 地域行事への参加 出張授業・出張教室 | | |

<https://www.furusato-ouen.pref.mie.lg.jp/>

両者での検討STEP 2

農山漁村地域との連携・協働に向けた検討（連携協定の締結）

双方が対等なパートナーとして取り組むことを確認する
「連携協定」を締結します



農山漁村活性化の取組に関する協定書（標準例）

〇〇〇農山地域における〇〇〇という課題の解決に向けた協働活動を行うため、県の仲介により、〇〇〇農山と株式会社〇〇〇企業とが、お互い対等なパートナーシップを築きながら次のとおり協定を締結します。

※は適宜アレンジする

1 活動の方針

双方の特性を理解し、自主性と自立性をもって、資源、人材、ネットワークを活かした協働活動として、活力ある地域の実現と関係者の喜びを伴う取組となることを目指します。

追加内容があれば追加する

2 取組の原則

上記の方針を達成するために、次のことを原則として活動を進めます。

- いつでも話し合える場を設けます。
- 活動内容の役割分担を明確にし、責任をもって実行します。
- 事業の進み具合に応じて、目的の共有を確認します。
- 常に、透明性を保ちます
- 事業終了後は、ふりかえりを行い、活動内容や進め方の改善などを行います。

追加内容があれば追加する

3 取組の内容

双方が次の活動内容を取り組みます。

<農山> <企業>

-
-
-

細かく書く必要はない。将来の展開も見据えて、抽象的な表現でよい。

4 その他

協定の締結から3年毎に、活動成果や活動状況の振り返りを実施し、その後の活動について協議を行います。

協定書に定める無い事項又は疑義が生じたときは、その都度双方は速やかに協議を行います。

この協定の締結を証するため、本協定書2通を作成し、記名押印の上、各々1通を保有する。

平成 年 月 日

農山村名

代表者名

印

企業名

代表者名

印

（参考）

『取組の内容』記載例

<農山>

- ・地域での特産品づくり、環境整備活動
- ・地域での農林水産業の振興のための活動
- ・地域での獣害対策活動
- ・地域での交流体験活動
- ・地域での伝統・文化の継承のための活動
- ・地域での教育、医療、福祉の向上のための活動
- ・地域での環境保全、景観保全活動
- ・地域での防災・災害対策活動
- ・地域での経済活動活性化のための活動
- ・その他、集落の維持のための活動
- ・その他、地域活性化のための活動 など

<企業>

- ・地域で行う農林漁業作業・環境整備活動に対する人的・技術的支援
- ・地域の農林漁業振興に対する人的・技術的支援
- ・地域の獣害対策活動に対する支援
- ・地域での交流体験活動への参加
- ・地域の伝統・文化の継承に向けた支援
- ・地域の教育、医療、福祉向上に対する支援
- ・地域の環境保全、景観保全活動に対する支援
- ・地域の防災・災害対策への支援
- ・地域の経済活動活性化活動に対する支援
- ・その他、集落の維持のための活動
- ・その他、地域活性化のための活動 など

以上は、あくまでも例示です。実際に取り組まれる内容や将来取り組みたい内容に応じて、記載してください。
細かく書く必要はありません。抽象的な内容で十分です。

県立ち合いのもと代表者同士で署名押印し、
協定式を行います

